

JAからのおたより

私たちは TPP に
日本が参加することに断固反対します



ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES

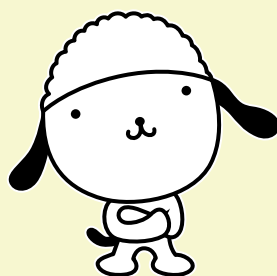
第 10 回
全国和牛能力共進会
長崎県大会

2012年
10月25日(木) ▶ 29日(日)



5月号

JA ごとう
2012 No.75



ごはんちゃワン©

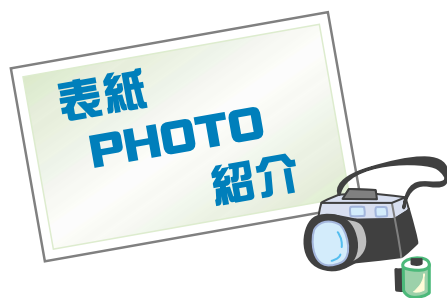
TOP
NEWS!!

産直市場 五鳥がうまい・
初年度売上目標突破!

CONTENTS 目次



- 2p
・ CONTENTS
・ 表紙 PHOTO 紹介
・ 上地区ふれあい電化ショー開催のお知らせ
- 3p
太陽と緑 五島がうまいの立役者
- 4p
TOP NEWS
産直市場 **五島がうまい**・直送便
ー初年度売上目標突破！ー
- 6p
今月のスポット
- 8p
・ 女性部の活動
・ 食のはなし
- 10p
・ L A 進発式
・ 新任 L A 職員紹介
・ 本山 S S 新装オープンのお知らせ
- 11p
・ 親子で考える「協同組合」早わかり Q & A
・ よい食の時間ですよ！！
- 12p
・ 旅行センターからのお知らせ
・ 補聴器相談会実施中！
・ 産直市場 **五島がうまい**・
・ J A ごとう 葬祭 浄倫会館
・ 編集後記



上段左から順に

- ・ スナップエンドウ収穫（4月9日）
- ・ 平成24年産早期米コシヒカリ田植え（4月16日）
- ・ 全共候補牛巡回（4月16日）
- ・ 平成24年度春芽アスパラガス（4月11日）
- ・ 平成24年度 J A ごとう L A 進発式（4月13日）
- ・ J A バンク教材本寄贈式（4月10日）

上地区 ふれあい 電化ショー

お問い合わせは…
JAごとう
各支店まで

場所

新上五島町石油備蓄記念会館

日時

5/26 土
5/27 日

下地区

ふれあい電化ショー

場所

JAごとう本店特設会場

日時

6/9 土 午前9時～午後6時まで

6/10 日 午前9時～午後5時まで

午前9時～午後6時まで

午前9時～午後6時まで

太陽と緑

五島がうまい の 立役者

NO. 24

五島の農業を
守りたい

守りたい

五島市野々切町

田中 たなか 松博 まつひろ さん(51)



親の営む野菜や温州みかんなどの栽培を見てきており、農業への理解もあつたことから、二十年間勤めたサラリーマンからの転身を果たしました。

多種多様な作物

スナップエンドウの栽培を始めたのはちょうど十年前のこと、それまではミニトマトを栽培していました。現在はスナップエンドウの他に葉ボタンの採種、ズッキーニ、高菜、



麦そして昨年十二月に本山支店管内で部会が発足したパプリカなどを畑合わせて四〇〇㍎で栽培しています。



天候と上手に付きあう

スナップエンドウは昨年末からの日照不足によって三月下旬は収穫量が少なかつたものの品質は良く、四月上旬からは一回で三〇〜四〇㍎収穫できるようになりました。

「雨の日や霧のかかったような天気の日には豆の根元が腐ってくるので心配。天候には敵わないので良い天気が続いてくれれば」と四月末で終盤を迎えるスナップエンドウの安定した収量を期待する田中さん。

これからパプリカの栽培も始まり、忙しい時期を迎えますが、自分のペースで楽しく農業を行っている様子でした。

栽培の楽しみ

「良い品質のものが出来たり、収

穫量が多いときがやっぱり一番の楽しみ。病気や害虫が発生しないように作業するのは難しいところではあるけれど、それが楽しいところでもあるよ」
そう語った田中さんにスナップエンドウのおすめの食べ方を聞いてみると、「ゆでてマヨネーズなんかをつけて食べたり、卵とじなんかもおいしいけど、うちはみそ汁に入れたりもするよ」と生産者ならではの食べ方。

地域のこれからを願って

これからの展望を尋ねてみると「現在牟田地区の補助事業を行っている土地を、地域の人間で整備していきたい。T P P問題などで若者の農業離れが進んでしまうと、耕作放棄地が増える一方なので、自分達で地域の土地を守って、輸出に強い作物を栽培することも考えています」と語ってくれました。



サラリーマンからの転身

田中さんは現在、スナップエンドウなどを主に出荷しています。

田中さんが農業を始めたのは十年前のこと。長崎県南農業共済組合の事務員だったときに、自分の住む野々切町の耕作放棄地が増えてきたことに心を痛めていたといいます。子どもの頃から一人息子として父



産直市場

TOP NEWS

五島がうまい・直送便

目標超え 3億6,500万円



産直市場「五島がうまい」 平成二十三年度 売上目標突破！

J Aごとう直売部は、二〇二一年四月十九日にオープンした産直市場「五島がうまい」の売り上げが当初目標を突破しました。

当初計画によると、年間売上三二八、〇〇〇千円の目標のところ、三六五、〇〇〇千円の売り上げとなりました。

(計画比一一・二%)

各部門別に内容を見てみると、農産物、精肉及び花卉等の売り上げが大きく、これらの好調な販売が売上増の要因とみられます。

同直売所の入口庄二店長は「初年度の目標を達成できたことは、日頃の出荷者の皆様の協力と地元の安心・安全を



お買い求め頂いた消費者の皆様のおかげです。今後も出荷者・J A・消費者の信頼関係の絆が一段と深まるよう、努力します。」と話しました。

買い物中の女性は「地元の安心・安全な食材が多く並んでおり、毎週来ている。特に五島牛をはじめとする肉類が手頃な価格で手に入るので助かっています。」と話していました。

同直売所では今月の二十七日まで創業一周年感謝イベントとして、農畜産物の特価販売やJ A共済とタイアップしたアンパンマン交通安全キャラバンショーなどを行います。
(日本農業新聞四月十四日、長崎新聞四月二十二日掲載)

産直市場「五島がうまい」
1周年記念大創業祭



ルビートマト詰め放題

産直市場「五島がうまい」では四月十九日から五月二十七日にかけて一周年感謝祭を行っています。感謝祭第一弾となった先月二十一日は、あいにくの空もようにも関わらず、新鮮な農畜産物を目当てに多くの来場客で賑わいました。目玉企画として行われた五島ルビーの詰め放題には子どもからお年寄りまで多くの方が参加。また買い物をした後にもガラポン抽選会などがあり、来場の方々からは好評を博しました。

出荷協力会の亀山誠会長は「農家所得の向上を目的に始まった直売所ですが、初年度目標を突破したことは農家にとっても大変喜ばしいことだと思います。今後は販路の拡大などに力を入れて、生産者・消費者・JAの三者がより満足できるような施設作りに努めた」と語りました。

産直市場 五島がうまい 1周年感謝イベント

イベント **その1** 農畜産物特価販売

(5月19・20・26・27日)



オープン1周年を記念した、特価商品が盛りだくさん！

生産者と地域の皆様のご協力に感謝の気持ちを込めて、各種商品を提供いたします。



イベント **その2 アンパンマン交通安全キャラバン**

(5月26・27日)

産直市場五島がうまい1周年記念として、JA共済とタイアップしたアンパンマンキャラバンが産直市場五島がうまいイベント広場にやってきます！

期間中はこの他にも各種イベントを開催いたします。

たべてみんね



富江支部 設楽 政男さん



私は、約8年間ビニールハウスでキュウリの栽培をしていました。高齢になり体力も衰えてきたときに「五島がうまい」の話をいただき、家庭菜園でできるようないろいろな種類の野菜を皆様にお届けできるよう車の運転が出来ればと頑張りたいと思います。

現在は大根、インゲン豆等、孫と一緒に出荷するのも楽しみの一つです。

これからもよろしくお願いします。



富江支部 入口ゆかりさん

このコーナーでは
直売所の出荷者の皆さんをご紹介します

直売所への出荷主要品目として、時期に合った野菜（スナップエンドウ、里芋、大根など）を出荷しています。

現在は、海産物（ワカメ、ア
オサなど）も出荷しており、こ
ちらの方も好評をいただき、毎日の出荷が楽しみで、
今年度は前年度以上に出荷を頑張っていこうと思ひ
ますので、今後とも宜しくお願いします。



全共出品に向け準備万端！

—出品候補牛巡回検査—



体重測定の様子

富江肥育センターで体重測定、採血、超音波診断などが行われ、参加者は一頭一頭真剣な眼差しで候補牛を審査しました。

同事務局の板東弘光さんは「今回見た限りでは順調に対象牛が育っていると感じられた。これから期間が、一番気を遣うので、大会まで大事に育ててほしい」と話しました。今月二十三日には、候補牛六九頭から三〇頭に絞りこまれる予定です。当JAでは今後十月の本大会に向け、候補牛の育成に全力を尽くします。

四月十六日、第一〇回全国和牛能力共進会長崎県大会実行委員会事務局は、五島市を皮切りに同大会出品候補牛の巡回審査を行いました。全共事務局、各JA担当者、五島振興局職員など約二〇名が見守るなか、五島市富江町にあるJAごとう富江肥育センターで体重測定、採血、超音波診断などが行われ、参加者は一頭一頭真剣な眼差しで候補牛を審査しました。



審査を行う関係者

苗の生育は順調

—早期米コシヒカリ田植え—



同地区での二〇一二年産早期米コシヒカリの作付面積は約二〇ヘクタールを計画しており、育苗を行った苗は順調に生育しました。同地区で田植えを行った釘本光正さんは「例年以上の良い苗を作付けすることができた。丹精込めて育て、品質の良いおいしい米を消費者の皆さんにお届けできれば」と話しています。

今回田植えを行った分は、早いところではお盆前に収穫を迎える見込み。今後JAでは早期米から普通期米への転換を行う方針です。

JAごとう管内では四月中旬から早期米コシヒカリの田植えが始まっています。JAごとうでは三月上旬に二九、〇〇〇箱の早期米コシヒカリの播種を行っており、そのうち五島市富江町にある同JAの育苗施設で育てられた苗は約一一、〇〇〇箱になりました。四月上旬からは富江支店管内約五〇戸の農家への苗配布が始まっており、各農家で田植えを行っています。



収穫増・高品質の見込み

—春芽アスパラガス出荷ピーク—



収穫を行う小田さん

二月下旬から二〇一二年産春芽アスパラガスの出荷が続いており、四月上旬からは出荷ピークを迎えています。

管内の春芽アスパラガスは栽培面積六三九ヘクタール、生産者五一戸となっています。本年産は低温が続く、出荷が遅れたものの、品質は上々で二〇ヘクタールが中心となっており、販売量も約四四ヘクタールとなる見込みです。五島市岐宿町で栽培を営む小田綾美さんは「ハウスを二重にするなどによって霜の被害は少なく、順調な生育状況です」と話しました。春芽アスパラガスの出荷は五月まで続く予定で、六月からは夏芽アスパラガスの出荷もスタート。担当するJA職員は「昨年十一月の気温が高かったため、休眠が浅く、貯蔵養分の蓄えが不十分ではないかと思いましたが、品質は良く太物が多く、計画を上回る出荷が期待できる」と話しました。（日本農業新聞四月二十一日掲載）

新上五島町へ要請

—TPP 交渉参加断固阻止へ向け—



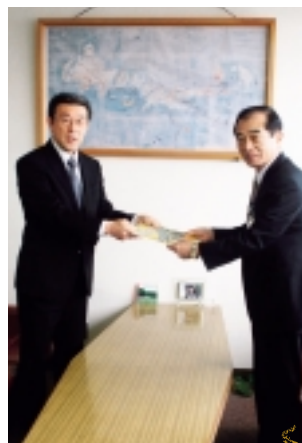
井上町長に要請書を手渡す中尾組合長

J A ごとうでは TPP 交渉参加断固阻止に向け、J A 段階での特別運動の一環として、井上俊昭新上五島町長、川口昭一同町議会議員への要請を四月二十三日、同町役場にて行いました。要請に先立って、中尾弘一組合長が「TPP 参加は新上五島町をはじめ、日本のあらゆる産業に壊滅的な影響を与える深刻な問題。野田佳彦首相の訪米が近づいている今、町からも断固阻止の声を挙げて頂きたい」と要請。井上町長は「町としても TPP 参加には断固反対の立場。県選出の国会議員等を通じて要請していきたい」と話した。

今後同 J A では五島市や管内選出の県議会議員等に要請を行います。（日本農業新聞 四月二十六日掲載）

食農教育への活用を

— J A バンク教材本寄贈—



才津教育長に教材本を贈る川辺常務

J A ごとうは十日、二〇一二年度の J A バンク食農教育応援事業の一環として、教材本の贈呈を五島市役所で行いました。

この教材本の贈呈は二〇〇八年度から続いているもので、県内の小学校五年生、全児童と先生に活用されています。また、本年度からは特別支援学級向けの同教材も作成されており、J A ごとう管内ではおよそ八〇〇名の児童の学習教材として活用される予定です。

教材本を贈られた才津久高五島市教育長は「サツマイモなどの収穫体験をはじめとして貴組合には食農教育をサポートして頂いている。今後こういった教材本を活用させていただいて、食物のありがたみや農家への感謝の心を子どもたちに感じてもらえれば」と話しました。（日本農業新聞 四月十二日掲載）

家畜の魂、安らかに

—平成23年度 畜魂祭—



哀悼の意を捧げる関係者

J A ごとうは三月二十七日、同畜産事業所で平成二十三年度畜魂祭を開催しました。畜魂祭には関係機関や生産者を含めた約五〇名が出席し、畜魂に祈りを捧げました。

同 J A の子会社である（株）J A ごとう食肉センターでは平成二十三年度に豚一万三、四〇〇頭、牛五五五頭を食肉処理しています。

開催にあたり中尾弘一組合長は「人の命を育むために犠牲となった豚・牛への感謝と哀悼の意を捧げ、五島の基幹作目である畜産業のさらなる振興に努めよう」と話しました。



第6回 JAごとう女性部通常総会

平成24年4月15日 福江総合福祉健康センター



①挨拶を行う中尾組合長



②橋下繁子部長挨拶



③本部役員選任後の挨拶



④JA女性の歌「明日輝くために」に合わせての健康体操



⑤T P P参加断固阻止特別決議案の提案（鶴川栄子副部長）



⑥富江支部による踊り「すずめサンバ」



⑦崎山支部による踊り「きさらぎの川」



⑧三井楽支部による踊り「月の夜」



⑨佐々木哲夫氏による講演

JAごとう女性部は4月15日五島市の福江総合福祉保健センターにて第6回JAごとう女性部通常総会を開きました。

女性部員、関係機関約200名が参加し、総会やアトラクション、講演会などが行われました。

総会の中で橋下繁子女性部長が挨拶し「東日本大震災の復興支援や地域の食農教育活動において、女性部員が一つになって取り組むことが出来た。今後も青年部との連携強化やフレッシュミズリーダーの育成に力を注ぎたい」と話しました。

また、女性部生産者代表として、鶴川栄子副部長がT P P参加断固阻止特別決議案を提示し、満場一致で採択。

午後からのアトラクションでは各支部から選りすぐりの芸達者が日本舞踊などを演じて花を添えました。

最後に開かれた講演会では、「笑顔あるところに仲間が集う」をテーマに家の光専門講師の佐々木哲夫氏が自ら作詞を手掛けた歌や、軽快なトークで、JA女性部組織について講演。会場は終始笑顔が絶えることなく、参加者は有意義な一日を過ごしました。（日本農業新聞4月24日掲載）



楽しみながら農業体験 —フレッシュミズ部会イチゴ狩り—

フレッシュミズ部会は四月二十九日、イチゴ狩りを行いました。今回は子どもたちを含め、約三十五名が参加。参加者は真つ赤に色づいたイチゴを一つ一つ「きれいだね」「かわいい」「おいしいね」と笑顔で収穫体験を行っていました。



いっぱい採れたよ！

収穫後は摘み取ったイチゴを使ったジャム作りも実施。今回は出来たてのイチゴジャムをパンに付けて試食しました。親子・友達同士で協力しながら調理し、イチゴの果肉たっぷりのジャムパンを頬張りながら、参加者は満面の笑顔でした。

石田知恵部会長は「新しい仲間も加わり、部会も活気づいている。今後も部員が楽しく活動できる取り組みを積極的に実施し、仲間作りを広めた」と話しました。



出来たてのジャムパンを頬張る子どもたち

石田知恵部会長は「新しい仲間も加わり、部会も活気づいている。今後も部員が楽しく活動できる取り組みを積極的に実施し、仲間作りを広めた」と話しました。



ソ ラ マ メ

ソラマメ料理で食卓を華やかに！



ベトナムのお料理教室

さやが空に向かって実るので、ソラマメといえます。春から初夏にかけてはさや付きのものが出回ります。むきたての豆は柔らかくて甘味があるので、ぜひいろいろな料理に使って旬の味覚を楽しみましょう。ゆでてそのまま食べてもおいしいですが、煮物や炒め物、パスタなど、和洋中のどんな料理にもよく合います。ソラマメのきれいな若草色が料理を彩り良く、食卓を華やかにしてくれます。

豆はさやから出すと硬くなるので、調理する直前にむきましょう。さやをねじって割り、中の豆を取り出します。ゆでるときは、ホックリとした豆の食感がおいしいので、ゆで過ぎないように注意します。沸騰した湯

に塩を入れ、3～4分ゆでてざるに取って冷まします。選ぶときのこつは、さや付きの場合はさやの緑色が濃く、ふっくらしているものを。さや付き200gで、正味60gほどになります。すでにむき豆で売られているものは、爪の色が薄いものほど柔らかくておいしいのでお勧めです。

保存は、さや付きのものはそのままポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室へ。早めに使います。むき豆は硬くなりやすいので、買ったならなるべく早くゆでましょう。ゆでた豆は冷凍できるので、硬めにゆでて保存しておくくと便利です。

RECIPE

エビとソラマメの マヨネーズ 炒め

調理時間

20分



撮影：対馬一矢

材料（2人分）

ソラマメ ……正味150g ※
エビ（無頭・殻付き） ……180g
塩 ……小さじ1/8
A しょう油 ……少々
かたくり粉 ……大さじ1
卵白 ……1個分

※さや付きソラマメの場合は、500～600g

B マヨネーズ ……大さじ2
酒 ……大さじ1/2
卵黄 ……1個
油 ……小さじ1・1/2
塩・しょう油 ……各少々

作り方

（1人分299kcal）

- (1) ソラマメは、硬めにゆでて皮をむきます。
- (2) エビは殻をむき、背開きにして背わたを取ります。Aをもみ込みます。
- (3) Bを合わせます。
- (4) 油小さじ1/2で(1)を炒め、塩、しょう油を振って取り出します。
- (5) 油小さじ1を足し、(2)を炒めます。色が変わったら(3)を加えてさっと炒め、(4)を加えてひと混ぜします。

組合員の精神的な支えに

—平成24年度 LA 進発式—



ガンバロー三唱を行う関係者

JAごとう共済部は十三日、役職員、関係機関約三〇名が参加して二〇一三年度 LA 進発式を行いました。

はじめに、中尾弘一組合長が「共済事業のスペシャリストとして、組合員から信頼を勝ち取る LA としての推進活動を期待します」と激励のあいさつがありました。

式の最後には LA を代表して三井楽支店管理金融課共済 LA の木村晃二さんが「組合員の方々に気軽に相談してもらえらる LA を目指しましょう」とガンバロー三唱で締めました。

当 JA では今年度も、顧客満足度の向上を目指して、30訪問活動を基調とした「保障内容の点検運動」や、LA 職員の研修等の充実によって質の高いサービスの提供を目指します。

新任 LA 職員紹介

本店共済部

共済 LA 課

野口 秀彦



この度、LA 課に配属になりました。

組合員の皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

三井楽支店

管理金融課共済 LA

木村 晃二



今回、初めて LA に配属になりました。

私の担当地区は地元なので、地域に密着した信頼される職員になりたいと思います。



JAごとう本山給油所

平成24年5月1日 新装オープン!!

 **ごとう農業協同組合**

○本山支店 72-4131 ○本山給油所 72-6544

親子で考える 「協同組合」早わかり

Q & A



Q. 協同組合って、なあに？



**A. みんなで力を合わせて、みんなの願いを
かなえる仕組みのことだよ**

協同組合の「協」という字を見てごらん。左側には「十」、右側には「力」が3つあるよね。この「十」という字には、「たくさん集める」という意味もあるんだ。

この字のとおり、協同組合というのは、「みんなの力を合わせ、よりよい暮らしをめざすことで、みんなの思いや願いをかなえる仕組み」のことなんだよ。

「1人は万人のために、万人は1人のために」。これは、協同組合にかかわる人たちが、たいせつにしている言葉なんだ。お父さんが野菜を出荷しているJAも、「農業協同組合」といって、「協同組合」の1つなんだよ。

東日本大震災では、みんなが支え合う絆の強さや、人と人とのつながりのたいせつさを実感しただろう？ これからの世の中は、「協同の力」がますます必要になっていくんだ。

「2012年は国際協同組合年です」

2012年は、国連が定めた「国際協同組合年」です。これは、国連が協同組合を「よりよい経済・社会の建設に大きく貢献できる事業体」と評価して定めたもの。

「協同組合がよりよい社会を築きます」をスローガンに、社会、経済の問題などに対して、世界で協同組合が行っている活動を広めることをめざします。



よい食の時間ですよ!!



1 限目 「みんなのよい食プロジェクト」 ってなに？

みなさんは、「よい食」と言われてどんなことを想像しますか？「おいしい食事」「楽しい食事」「健康的な食事」「家族や友達と食べる食事」など、いろいろなイメージがあると思います。いま、世の中にはさまざまな食べ物があふれています。そのため、「食べる」ことの大切さについて、考えることが少なくなっているのではないのでしょうか？

わたしたち日本人にとっての、本当に「よい食」とはなにか——。農家やJAだけでなく、消費者のみなさんも一緒に考え、そして行動する。それが、「みんなのよい食プロジェクト」です。

そのシンボルマークが、左下の「笑味ちゃん」。「食」という漢字をモチーフに、「よい食」をおいしそうに

食べている笑顔を表現しています。名前も、おいしい国産農畜産物を「笑」顔で「味」わっているところからつけられました。



○月×日(○)



「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、消費者のみなさんで一緒に考えて、行動していく運動です。



お問い合わせは：
JAごとう旅行センター
0959(72)6211まで

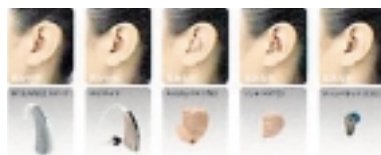
補聴器 相談会実施中！

あなたの聴こえは大丈夫？

- ☆テレビやラジオの音量が大きいと言われる。
- ☆後ろから呼ばれると気づかないことがある。
- ☆会議中に聞き返す事がよくある。
- ☆騒がしい所で相手の声がよく聞き取れない。 など…

思い当たる「ことある」という方は今すぐご相談ください。

聴こえの状態やご予算にあわせて各種補聴器をご用意しております。



ご自宅、又は各支店・出張所にて無料聴力測定いたします。
2週間無料試聴も行なっております。
聴力測定時⇒機種選定⇒無料試聴
満足頂ければご購入。
満足頂けない場合はご返却いただきます。
お気軽にご相談ください。

お問合せ：JAごとう本店 経済部 0959-72-6585

変嬉しく思っております。
を任せて頂いたことを、大
にであうことができる仕事
「広報」という多くの方々
ことだらけではありますが、
本県から来て、分からない
昨年三月に出身の熊
た、紙漉諒と申します。

編集後記

今月号から広報の担当を
させて頂くことになりました
た、紙漉諒と申します。
五島の魅力を発見していく
とともに、組合員をはじめ、
地域の方々に親しみを持つ
て頂ける職員に成長したい
と思っております。
美しい自然と独自の文化
から形成された五島の魅力
を、最大限アピールできる
よう努めて参ります。
どうぞ宜しくお願い致し
ます。



産直市場
五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450-1
電話：0959-88-9933
FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～19時
※農家レストランは10時30分～15時（予約については別途）
※土日・祝日限定バイキング 11時～15時
料金 大人：1,000円 子ども：500円（小学生以下）
定休日：毎月第1・第3月曜日（祝日の場合は営業、振替なし）

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう葬祭
斎場 **浄倫会館**

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955